

# Cente Technical Information

発行番号	001-0076	Rev	第1版	発行日	2026/02/20
題名	送信元IPアドレスが0.0.0.0のARPリクエストが送信されることがある				
情報分類	障害情報				
適用製品	<ul style="list-style-type: none"><li>・ Cente TCP/IPv4 Ver. 1.52およびそれ以前</li><li>・ Cente TCP/IPv4 SNMPv2 Ver. 2.30およびそれ以前</li><li>・ Cente TCP/IPv4 SNMPv3 Ver. 2.30およびそれ以前</li><li>・ Cente IPv6 Ver. 1.60およびそれ以前</li><li>・ Cente IPv6 SNMPv2 Ver. 2.30およびそれ以前</li><li>・ Cente IPv6 SNMPv3 Ver. 2.30およびそれ以前</li></ul>				
関連資料	なし				

**【該当するユーザ環境】**  
ARPキープアライブ機能を有効にしているユーザ(※)。Ethernetアドレス(MACアドレス)を使用するネットワークインタフェースで発生します。  
※cttcpip\_cfg.hの定義「ARP\_KEEPALIVE」を「TRUE」(デフォルト)としている環境が該当します。

**【症状】**  
Cente搭載機器において、他機器とIP通信できている状態で一旦リンクダウン(Ethernetの場合はケーブルを抜くなど)し、再びリンクアップ(Ethernetの場合はケーブルを再び接続するなど)すると、直後にCente搭載機器が送信元IPアドレスを0.0.0.0としたARPリクエストを送信することがあります。

**【本障害による影響】**  
本障害で送信する送信元IPアドレスが0.0.0.0のARPリクエストの内容は、「ARPプローブ」と同等となり通信に悪影響はありません。

**【原因】**  
通信相手のIPアドレスとMACアドレスの組み合わせ情報(ARPキャッシュ)の定期更新処理に不備がありました。再リンクアップ後まれに自IPアドレスが確定するまでの間にARPキャッシュの更新処理が動作することがあり、それによって該当のARPリクエストを送信しておりました。

**【回避方法】**  
自IPアドレス確定前にはARPリクエストを送信しないよう、ソースコードを修正する必要があります。  
修正箇所については、support\_XXXatmarkXXX\_cente.jpまでお問い合わせください(\_XXXatmarkXXX\_は@にしてください)。

以上。